

## 奈良市子ども・子育て会議委員名簿

(敬称略、カナ順)

	氏名	所属・役職名等	備考
1	オオガタ ミカ 大方 美香	大阪総合保育大学児童保育学部 教授	会長
2	岡本 サト子 岡本 聡子	NPO法人ふらっとスペース金剛 代表理事	
3	カメモト カサヤ 亀本 和也	奈良市保育園保護者会連絡協議会 副会長	
4	キタカ ミツ代 北岡 光代	公募委員	
5	クサモト 恭子 栗本 恭子	公募委員	
6	タケムラ タケン 竹村 健	奈良市自治連合会 会長	
7	ニシヤマ 明彦 西山 明彦	奈良市私立幼稚園協会 会長	
8	ハタカ ヤスフ 畑中 康宣	奈良市PTA連合会 会長	
9	ハマダ シンジ 浜田 進士	NPO法人子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長	副会長
10	フジモト タカシ 藤本 宣史	奈良市保育会 会長	
11	カサキヨシ 紀香 掘越 紀香	奈良教育大学教育学部 准教授	
12	マエダ シンスケ 前田 伸介	奈良県私立幼稚園PTA連合会第2ブロック 地区役員	
13	ヨコオ ノリオ 横尾 典男	株式会社平井真美館 総務課長	
14	ワダ リアキ 和田 憲明	NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 代表理事	

平成25年12月19日 現在

# 子ども・子育て支援新制度と 奈良市の取組状況について

第3回 奈良市子ども・子育て会議  
平成25年12月19日（木）  
奈良市子ども未来部

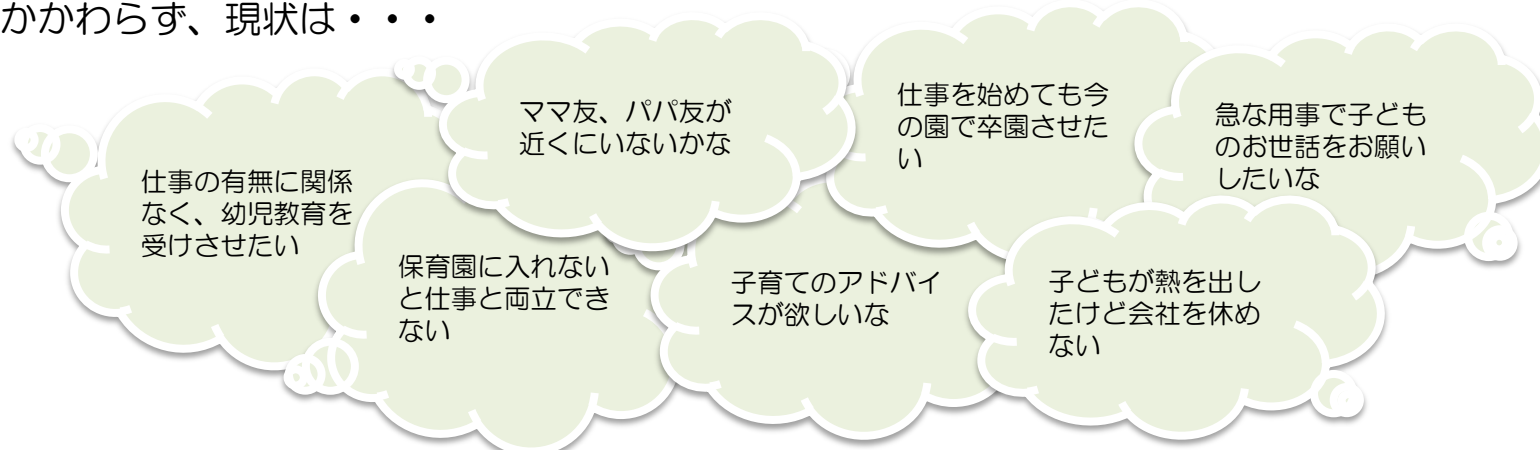


1. 子ども・子育て支援新制度の3つの目的
2. 子ども・子育て支援新制度の全体像
3. 地域の子ども・子育て支援の充実
4. 奈良市の取組状況について
  - ①地域子育て支援拠点事業
  - ②妊婦健診
  - ③乳児家庭全戸訪問事業
  - ④養育支援訪問事業
  - ⑤子育て短期支援事業
  - ⑥ファミリー・サポート・センター事業
  - ⑦一時預かり事業
  - ⑧延長保育事業
  - ⑨病児・病後児保育事業
  - ⑩放課後児童クラブ

# 1. 子ども・子育て支援新制度の3つの目的

## 結婚・出産・子育ての希望がかなわない現状

- 少子化が進行している中、独身男女の約9割が結婚意思を持っており、希望の子ども数も2人以上であるにもかかわらず、現状は・・・



課題の解決のため、「子ども・子育て支援新制度」を創設

## 子ども・子育て支援新制度の3つの目的

- ・平成24年8月に新制度の基礎となる「子ども・子育て関連3法」が成立
- ・子ども・子育て支援新制度の大きな目的は以下の3つ
  - ①質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供（第1回会議で説明）
  - ②保育の量的拡大・確保（第2回会議で説明）
  - ③地域の子ども・子育て支援の充実（本日の説明事項）

## 2. 子ども・子育て支援新制度の全体像

●新制度による子ども・子育て支援は、「給付」と「事業」で構成される。

### 子ども・子育て支援給付

#### 施設型給付

- 認定こども園
- 幼稚園
- 保育所

#### 地域型保育給付

- 小規模保育
- 家庭的保育
- 居宅訪問型保育
- 事業所内保育

#### 児童手当

### 地域子ども・子育て支援事業

【子ども・子育て支援法で定める13事業】

- ①利用者支援事業
- ②地域子育て支援拠点事業
- ③妊婦健診
- ④乳児家庭全戸訪問事業
- ⑤養育支援訪問事業  
(要支援児童・要保護児童等の支援に資する事業)
- ⑥子育て短期支援事業
- ⑦ファミリー・サポート・センター事業
- ⑧一時預かり事業
- ⑨延長保育事業
- ⑩病児・病後児保育事業
- ⑪放課後児童クラブ
- ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な主体の参入促進事業

## 地域子ども・子育て支援事業について

- 新制度においては、「認定こども園の普及」や「待機児童の解消」だけが目的ではなく、すべての家庭を対象に、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させるため、子ども・子育て支援法第59条において対象事業を定めるとともに、財政支援が強化される。
- スライド2に示した②～⑩の事業については、児童福祉法等により現在も事業を実施しているが、新制度上の事業として位置づけるにあたり、必要となる事業内容の充実や運用の改善について、国の子ども・子育て会議において検討されている。
- 「⑪放課後児童クラブ」については、児童福祉法改正により、市町村が条例で設備及び運営に関する基準を定めることとされ、国の審議会において条例制定のための基準（厚生労働省令）等について検討されている。

## 新設・拡充・制度改正の例

### ■利用者支援事業（新設）

- ・新制度では、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援の事業が用意されることから、個々のニーズに応じて情報やサービスを提供するべく、利用者が自分の家庭にふさわしいメニューを、確実かつ円滑に利用できるようなコーディネーションが必要であるという考えにより、事業化。

### ■放課後児童クラブ（拡充・制度改正）

- ・対象児童を概ね10歳未満の小学生から小学校6年生へ拡充
- ・市町村が設備及び運営に関する基準を条例化（現行はガイドライン）

## 既存事業の取組状況について

- |                    |     |        |
|--------------------|-----|--------|
| ①地域子育て支援拠点事業       | ・・・ | スライド5  |
| ②妊婦健診              | ・・・ | スライド6  |
| ③乳児家庭全戸訪問事業        | ・・・ | スライド6  |
| ④養育支援訪問事業          | ・・・ | スライド7  |
| ⑤子育て短期支援事業         | ・・・ | スライド8  |
| ⑥ファミリー・サポート・センター事業 | ・・・ | スライド9  |
| ⑦一時預かり事業           | ・・・ | スライド10 |
| ⑧延長保育事業            | ・・・ | スライド11 |
| ⑨病児・病後児保育事業        | ・・・ | スライド12 |
| ⑩放課後児童クラブ          | ・・・ | スライド13 |

## (参考) 新規事業について

●以下の新設3事業については、国の子ども・子育て会議において事業内容を審議中

⑪利用者支援事業

→先進事例 … 横浜市「保育コンシェルジュ」、松戸市「子育て支援コーディネーター」

⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

⑬多様な主体の参入促進事業

} 幼稚園・保育所等の運営実態を踏まえて検討

# 4-① 地域子育て支援拠点事業

## 事業概要（子育て情報ブック：P.25・26）

- 公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施し、子育ての孤立感・負担感の解消を図ることを目的とする。

○対象者 … 概ね0～3歳の児童とその保護者

○利用料金 … 無料

## 施設数（平成25年10月1日現在）

○18か所

類型	施設数	利用時間
地域子育て支援センター	7	午前9時～午後5時までの間で施設により異なる
つどいの広場	7	午前10時～午後4時
すくすく広場	4	午前10時～午後3時

## 利用実績（平成24年度）

○延べ利用者数 … 105,618人（平成24年度は17か所）

類型	延べ利用者数
地域子育て支援センター	51,483人
つどいの広場	32,694人
すくすく広場	21,441人



## 4-② 妊婦健診

### 事業概要（子育て情報ブック：P.10）

- 妊娠届出時に、母子の健康保持・異常の早期発見のために、定期的に病院等で受診するための妊婦健康診査費用の一部を助成する。

### 利用実績（平成24年度）

○補助券交付数 … 2,776件

## 4-③ 乳児家庭全戸訪問事業

### 事業概要（子育て情報ブック：P.5）

- 生後4か月未満の乳児のいるすべての家庭を訪問し、乳児の体重測定や子育て情報の案内等を行う（こんにちは赤ちゃん訪問）。

○利用料金 … 無料

### 実施実績（平成24年度）

○面接率 … 98.1%  
(平成24年度出生の対象者2,703人のうち、2,652人)

### 事業概要

- こんにちは赤ちゃん訪問等の後も、養育に関する相談・助言が継続して必要な家庭に対して、保健師等の訪問支援員が家庭訪問を行う。

○利用料金 … 無料

### 利用実績

○延べ訪問件数 … 93件

## 事業概要（子育て情報ブック：P.30・32）

- 保護者が疾病や出張等の理由により、児童の養育が一時的に困難になった場合に、宿泊または日帰りで児童を預かる事業（ショートステイ・トワイライトステイ）。

ショートステイ	7日間を限度に24時間児童を児童福祉施設で預かる事業
トワイライトステイ	6か月以内で、1日あたり4時間を限度とし、午後2時～午後10時までの間、児童福祉施設への通所により児童を預かる事業

- 対象者 … 18歳未満の児童
- 利用料金 … 利用区分や保護者の所得に応じて設定  
 ショートステイ（2歳未満児）0円～5,350円／1日  
 （2歳以上児）0円～2,750円／1日  
 トワイライトステイ 0円～750円／1日

## 実施施設（平成25年10月1日現在）

- 3歳未満児 … 乳児院2か所（生駒市・斑鳩町）
- 3歳以上児 … 児童養護施設3か所（生駒市・斑鳩町・天理市）

## 利用実績（平成24年度）

- ショートステイ … 延べ利用日数：291日
- トワイライトステイ … 延べ利用日数：0日

## 事業概要（子育て情報ブック：P.30・32）

- 子育ての援助をしてほしい人（依頼会員）と、子育ての援助をしたい人（援助会員）との会員組織を作り、幼稚園・保育所、バンビーホームへの送迎や、保護者が冠婚葬祭や病気の際の預かり等、地域で子育てを支援する事業。

- 対象者（依頼会員） … 概ね生後3か月から小学校6年生までの子どもの保護者で、説明会を受講した人
- 利用料金 … 平日 700円／1時間  
土・日・祝日 800円／1時間

## 実施施設

- はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター）内に事務局を設置

## 実施状況・利用実績（平成24年度）

- 依頼会員 … 948人
- 援助会員 … 227人
- 両方会員 … 104人
- 延べ相互援助活動件数 … 6,665件

## 事業概要（子育て情報ブック：P.32）

- 認可保育所に入所していない児童で、保護者の断続的な労働や病気、育児疲れ等の解消のため、家庭での保育が困難な場合に、認可保育所で一時的に預かる事業。

○対象者 … 小学校就学前までの児童

### ■以下は、施設ごとに設定

- 利用料金 … 1日あたり2,000円前後
- 利用時間 … 午前8時～午後6時までの間
- 利用定員 … 1施設につき5～20人

## 施設数（平成25年4月1日）

○民間保育所9園で実施

## 利用実績（平成24年度）

○延べ利用者数 … 9,610人（平成24年度は8園）

### 事業概要

- 認可保育所の児童で、保護者の勤務条件や家庭の事情等により、通常の保育時間を超える保育が必要な場合に、保育時間を延長して保育を行う事業。

○利用料金 … 施設ごとに設定

### 施設数（平成25年4月1日）

○民間保育所25園中、23園で実施

### 利用実績（平成24年度）

○延べ利用者数 … 91,410人（平成24年度は22園）

## 事業概要（子育て情報ブック：P.32）

- 児童が病気または病気の回復期で、保護者の仕事の都合等で家庭での保育が困難な場合に、児童を一時的に専用施設で預かる事業。

- 対象者 … 概ね10歳未満の児童
- 利用料金 … 1日あたり2,000円 ※減免制度あり

### ■ 以下は、施設ごとに設定

- 利用時間 … 午前8時～午後6時の間
- 利用定員 … 3～6人

## 施設数（平成25年10月1日）

- 病児保育事業 … 2か所
- 病後児保育事業 … 2か所

## 利用実績（平成24年度）

- 病児保育事業 … 延べ利用者数 231人（平成24年度は1か所）
- 病後児保育事業 … 延べ利用者数 195人（平成24年度は1か所）

## 事業概要（子育て情報ブック：P.39）

- 就業や疾病等の理由により、昼間家庭に保護者等がない児童を対象に、授業終了後の遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的とする。
- 放課後児童クラブとは、放課後児童健全育成事業に基づく施設であり、奈良市では「バンビーホーム」という名称を使用している。

○対象者 … 昼間保護者等が不在の小学生

○利用料金 … 月額3,000円（延長料金1,000円） ※減免制度あり

## 施設数（平成25年6月1日現在）

○46か所（各小学校区に設置。小学校敷地内44か所、小学校敷地外2か所）

○バンビーホームのほか、民間の施設が3か所

## 利用実績（平成25年6月1日現在）

○合計 … 2,740人

○学年別

1年生：816人

2年生：671人

3年生：561人

4年生：369人

5年生：200人

6年生：123人



## 第2回事業計画策定部会の審議報告について

第3回 奈良市子ども・子育て会議

平成25年12月19日（木）

奈良市子ども未来部



1. 第2回事業計画策定部会の開催について
2. 事業計画策定までのスケジュールについて
3. 構成（案）へのご意見等について

# 1. 第2回事業計画策定部会の開催について①

## (1) 部会の基礎情報

### ■部会の設置根拠

- ・「奈良市子ども・子育て会議事業計画策定部会設置要領」（第1回子ども・子育て会議 資料3）

### ■部会の設置目的

- ・奈良市の子ども・子育て支援事業計画の策定についての協議と、関連課題の整理のため。
- ・これから策定しようとする子ども・子育て支援事業計画は、記載内容が多岐に渡るだけでなく、来年度の中頃には計画の素案をパブリックコメント手続に付さなければならないことから、集中的かつ効率的に審議するため。

### ■部会の所掌事項（設置要領第2条）

- ・利用希望の調査に関する事 → ニーズ調査の実施に関する事
- ・子ども・子育て支援法第61条第2項に関する事 → 全国共通で事業計画に記載する項目
- ・子ども・子育て支援法第61条第3項に関する事 → 任意での記載が認められている項目
- ・上記3点のほか、事業計画の策定に関連して検討を要すること

### ■部会の委員

- ・子ども・子育て会議委員及び奈良市及び奈良市教育委員会事務局から会長が指名
- ・子ども・子育て会議からは、大方会長、浜田副会長、岡本委員、掘越委員の4名
- ・奈良市職員からは、子ども未来部参事、子ども政策課長、こども園推進課長、保育所・幼稚園課長、子ども育成課長、子育て相談課長の6名
- ・奈良市教育委員会事務局からは、教育政策課長、地域教育課長の2名

## (2) 第2回部会の審議内容

### ■開催状況

- 開催日時：平成25年10月4日（金） 午後2時～午後4時
- 開催場所：奈良市役所 中央棟6階 第1研修室
- 出席委員：12名中、10名出席

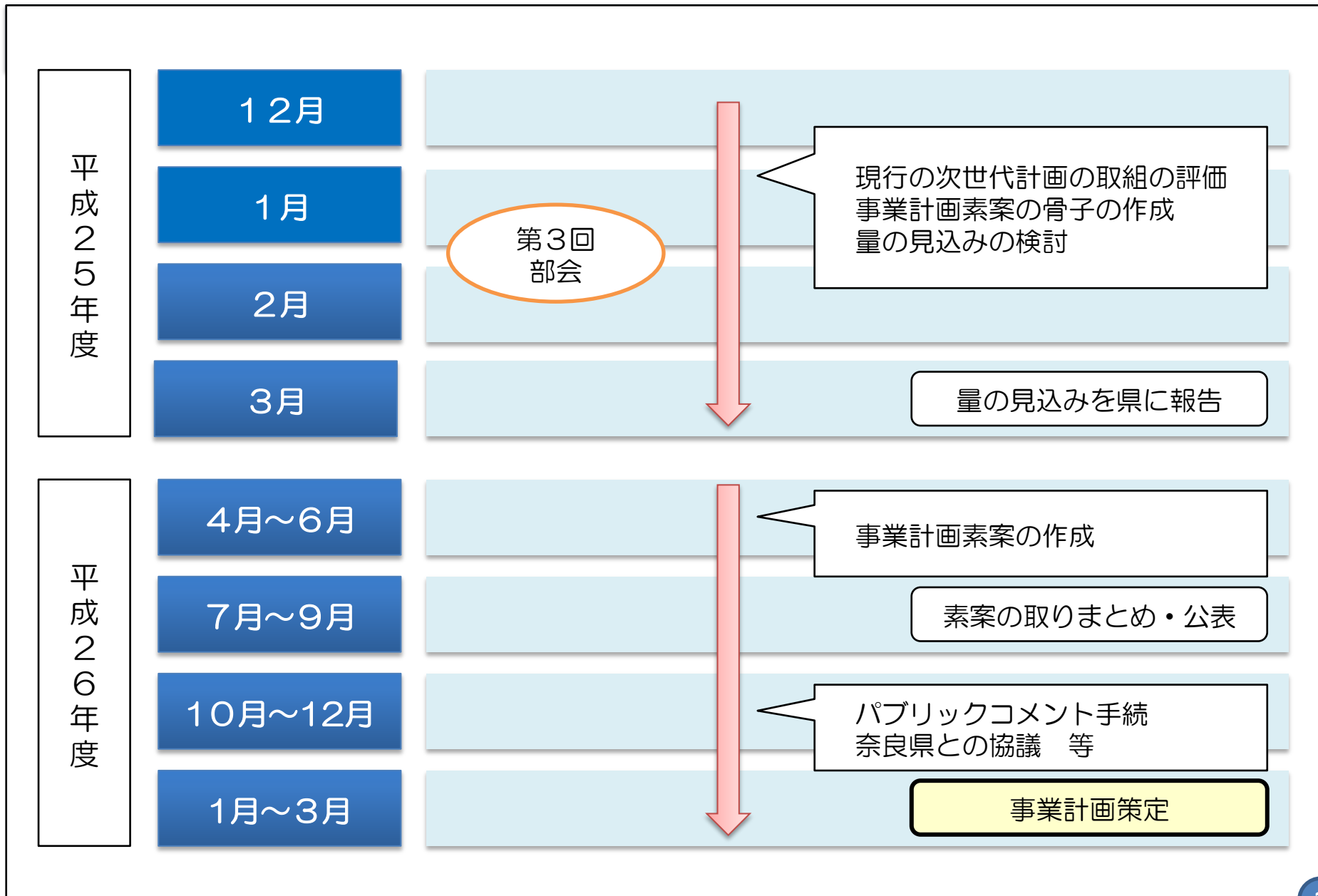
### ■当日の議題

- ニーズ調査実施の報告について
- 子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）について
- 子ども・子育て支援事業計画の構成の検討について

### ■審議結果

- 決定事項なし
- 事業計画素案の骨子作成に向けて資料提示した構成（案）の見直し
- 現行の次世代育成支援行動計画における施策体系と基本指針（案）との突合

## 2. 事業計画策定までのスケジュールについて



### 3. 構成（案）へのご意見等について①

- 奈良市版の子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、部会にて検討のたたき台を提示し（資料4及び資料5）、ご議論いただいた。
- 以下は、資料4の4頁～5頁に記載の項目別にご意見・提案等をまとめたもの。

#### （1）読み手を意識した構成・レイアウト

- ・事業計画の読み手が誰なのかを明確にした方がよいのではないか。
- ・「〇〇プラン」等の愛称は、話題にもなるので検討してもよいのではないか。
- ・整備目標達成後の効果とあるが、具体的なイメージはあるのか。例えば利用者の満足度で検証してみてもどうか。

#### （2）現行の次世代計画との関連性

- ・奈良市の現行の次世代計画の施策の体系について、分解せずに国の基本指針等と新旧対照という形で比較してみてもどうか。用語の使い方は修正する必要があると思われるが継続性を考えて微調整でも可能ならば望ましい。制度変更により切れ目が出てしまわないように、突合をお願いしたい。
- ・現行の施策の体系について、基本理念等は大きく変わらないと思われるが、新制度の新しい取組が見える形で追加・修正してみてもどうか。

### 3. 構成（案）へのご意見等について②

#### （3）関連施策との連携について

- ・ 部内、各課の間でのすり合わせをお願いします。

#### （4）計画の進行管理について

- ・ ニーズや需給の関係は区域ごとに異なるので、計画や評価も区域ごとに示したほうがよいのではないか。区域ごとに進める施策に違いが出るところが難しさではあるが、それこそが子育て家庭のニーズに即した支援になると思う。
- ・ 計画の評価も区域ごとで行うということは、従来は数値目標をクリアすればよかったので画期的ではあるが、例えば区域内に1か所しかない区域のほうが満足度が高く、3か所同じものがあったとしても満足度が低いということも有り得るので、具体的なイメージを持つべきではないか。
- ・ 数値目標だけでは、数を増やしてどうなったという部分までは見えにくいので、「これだけ効果がある、満足度が上がる」ということまでアプローチできたほうが、市民にとっていいのではないか。
- ・ 計画策定後、実績と乖離がある場合に3年目に見直すという提案だが、子ども・子育て会議で毎年状況を把握することになるという点や、完成年度になってくると修正しにくいという点から、まずは2年目の時点で暫定的に大き目の評価を行い、そのままでいいかということを見るという考え方もあるのではないか。
- ・ 事業計画の費用対効果について、将来的な予算額の予測は大変難しいが、何らかの形で財政的観点からの指標も掲載できればと思う。

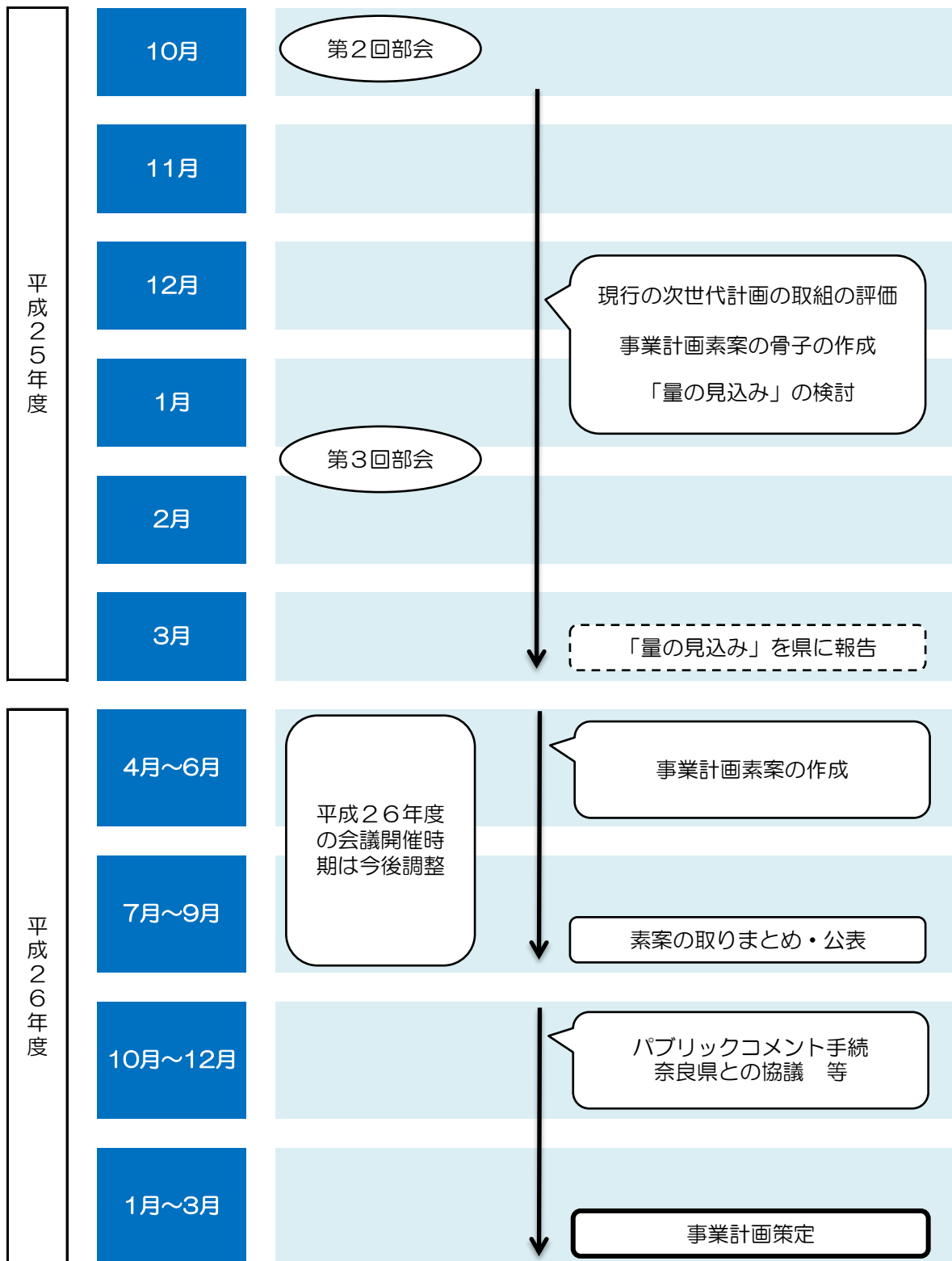
# 事業計画素案の骨子作成に向けた基礎資料について

(※第2回事業計画策定部会提示資料)

奈良市子ども未来部子ども政策課  
平成25年10月4日



# 1. 事業計画策定までのスケジュール



※平成26年度については、事業計画作成の進捗状況について、四半期ごと等の一定の期間ごとに、県に報告・協議を行う予定。

## 2. 事業計画の構成イメージ（案）

（仮称）奈良市  
子ども・子育て支援  
事業計画



### <事業計画の構成（案）>

#### I. 事業計画の策定について

- 事業計画の目的・趣旨、事業計画の位置づけ
- 事業計画の対象・期間、本市の他計画との関係

#### II. 事業計画の基本的な理念・考え方について

- 本市の子ども・子育てに対する基本理念、基本方針
- 事業計画の基本目標や施策の方向

#### III. 子ども・子育て支援のこれからの取組について

- 本市の子ども・子育て環境を取り巻く状況と課題
- 現行施策の各分野の現状と課題
- これからの取組（提供区域の設定、需給計画の策定、幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進に関する体制の確保、今後5年間の取組で目指すもの、今後の取組により得られる効果）

#### IV. 各区域の実施計画について

- 各提供区域における5か年の需給計画  
（教育・保育と地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、確保の内容、実施時期）

#### V. 計画の推進体制について

- 事業計画の点検・評価の実施と手法

#### VI. 事業一覧・参考資料等

### 3. 事業計画素案の骨子（案）について

#### (1) 骨子の検討に当たっての視点について

事業計画素案の骨子の検討に当たっては、以下の視点をベースとします。

##### 1. 読み手を意識した構成、レイアウト

子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画は、行政職員だけではなく、子育て当事者として、現在子育て中の保護者の方、子育て支援事業に従事している方をはじめ、様々な関係者の参画によって作り上げられるもの。

よって、子育て当事者が参加して作り上げた実感できるもの、読んでみたいと感じてもらえるもの、つまり現行の次世代育成支援行動計画の構成にとらわれたものや、「行政の計画」そのものにならないよう検討。

##### (検討いただきたいポイント)

- ・ 「奈良市子ども・子育て支援事業計画」ではなく、「〇〇プラン」としてみてはどうか。
- ・ 利用者の視点を考慮して、子どもの年齢やライフステージに応じた利用可能な事業・サービスを整理したページを計画の前半に入れてみてはどうか。
- ・ 細かな事業一覧は、参考資料に掲載し、各区域ごとに現状の課題と今後の目標に重きを置いてはどうか。
- ・ 単なる整備目標だけではなく、目標達成後の保護者への効果、影響を初めの部分で明示してはどうか。

##### 2. 現行の次世代計画との関連性（資料5及び6参照）

本市では、「豊かな心を持ち、未来をひらく子どもを育むまち・なら」という基本理念のもと奈良市次世代育成支援行動計画を策定し、現在は後期計画（平成22年度～26年度）に基づき各種子育て支援に関する施策及び事業を実施している。

現行の次世代計画は、平成26年度に終了することから、本市の子ども・子育て支援事業計画の策定に当たっては、現行の次世代計画の考え方や内容を踏まえつつ、事業計画に引き継ぐ内容を検討するものとする。

ただし、新制度の方針をまとめた「子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）」の内容や奈良市子ども・子育て会議及び部会からの提出意見については、反映・修正するものとする。

##### (検討いただきたいポイント)

- ・ 現行計画を踏襲するものが、基本理念や基本目標等の計画に対する考え方はそのままではよいのかどうか。

##### 3. 関連施策との連携について

子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）において、市町村が定める事業計画に記載する内容のうち、

- ①産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保に関する事項
- ②子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携に関する事項
- ③労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携に関する事項

については、事業計画の任意記載事項と定められているが、例えばワーク・ライフ・バランスと子ども・子育て支援新制度は、車の両輪と考えられることから、本市の事業計画を策定する際は、関係する他課所管の計画と連携・整合を図るという形で策定する。

(検討いただきたいポイント)

- 任意記載事項については、他課所管の計画との整合性を保つため、基本的には既存の部門計画に委ねることとし、必要に応じて事業計画にもその内容を記載するという形ではどうか。

#### 4. 計画の進行管理について

子ども・子育て会議の役割の一つとして、事業計画策定後のPDCAサイクルの確保が挙げられるが、子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）においては、「市町村子ども・子育て支援事業計画の達成状況の点検及び評価」に関する事項は、任意記載事項となっている。

しかし、現行の次世代計画では、後期計画策定後に計画の見直しが行われていないことや、子ども・子育てを取り巻く状況は年々変化していくことから、今回策定しようとする事業計画については、奈良市子ども・子育て会議において事業計画の点検及び評価を行う旨を明示することで、PDCAサイクルを確保するものとする。

(検討いただきたいポイント)

- 計画の点検及び評価に当たっては、市全体ではなく、区域ごとに実施してはどうか。  
(問題点だけではなく、良い評価も公表。評価手法や評価時期については、別途要検討。)
- 事業計画に定めた「量の見込み」と「確保の内容」を比較して、乖離が生じている場合等、必要がある場合は3年目を目安として、計画を見直す旨を明示してはどうか。
- 国の子ども・子育て会議では、「費用対効果」についても言及されていたが、「確保の内容」の手法は様々であり、金額の大小とは直接的なつながりがあるかどうかは不透明なことから、事業計画では明記しない方向で検討してはどうか。

#### (2) 第3回部会までの事務局作業について

---

第3回部会までに予定している事務局作業のうち、主な事項は次のとおり。

##### ①事業計画素案の骨子に関する事項

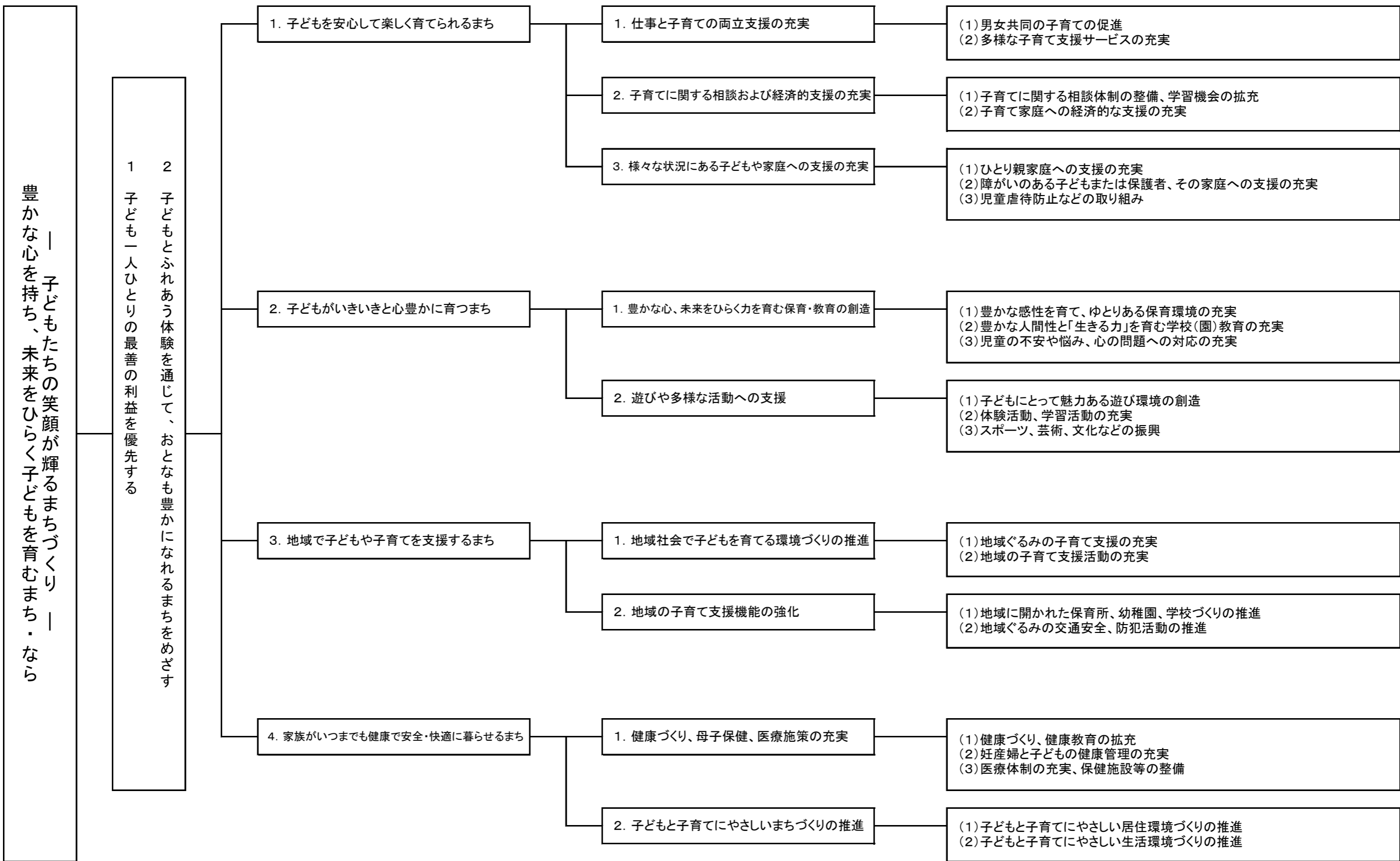
- 本日の審議結果を踏まえ、事業計画素案の骨子（案）の肉付け
- 現行の次世代計画から引き継ぐ施策（案）の作成
- 現行の次世代計画の取組の評価

※必要に応じて、子ども・子育て会議委員への意見募集や、各事業所管課への照会を依頼する予定

##### ②「量の見込み」に関する事項

- 私立幼稚園や認可外保育施設の利用者の実態調査  
(保護者へのアンケート調査ではなく、施設に対する調査を予定)

基本理念 基本方針 基本目標(4項目) 基本施策(9項目) 主な個別施策(22項目)



奈良市  
子ども・子育て支援事業計画策定に  
係るニーズ調査結果報告（速報値）

平成25年12月19日

## 調査の実施について

### (1) 調査目的

本市では、平成 27 年度から本格施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「奈良市子ども・子育て会議」を設置し、(仮称)奈良市子ども・子育て支援事業計画の策定をはじめとして、新制度に向けた準備を進めているところです。

この度、事業計画策定に係る基礎資料として、就学前児童及び小学生の保護者の方を対象に、子育てに関する現状や、教育・保育、地域の子育て支援事業の利用状況及び今後の希望等を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

### (2) 調査概要

調査地域	奈良市全域
調査対象	奈良市内在住の 0 歳～2 歳児のいる世帯・保護者 1,500 人 奈良市内在住の 3 歳～5 歳児のいる世帯・保護者 1,500 人 奈良市内在住の小学生のいる世帯・保護者 2,000 人
調査方法	住民基本台帳から対象児童のいる世帯を無作為抽出、郵送法による
調査期間	平成 25 年 9 月 27 日から 10 月 17 日まで

### (3) 回収結果

	配布数	回答数	回収率
0～2 歳児	1,500 通	908 通	60.5%
3～5 歳児	1,500 通	815 通	54.3%
小学生	2,000 通	1,151 通	57.6%

### (4) 調査結果の表示方法

- ・ 0～2 歳児、3～5 歳児と小学生のアンケートは、設問内容が同様のものがありますので組み合わせて表示しています。なお、設問番号が相違するため、それぞれの設問番号をカッコ書きで表示しています。
- ・ 「SA」とは単数回答、「MA」とは複数回答のことを示しています。
- ・ グラフに表示されている「N値」は有効回答数です。
- ・ 回答は各質問のN値を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

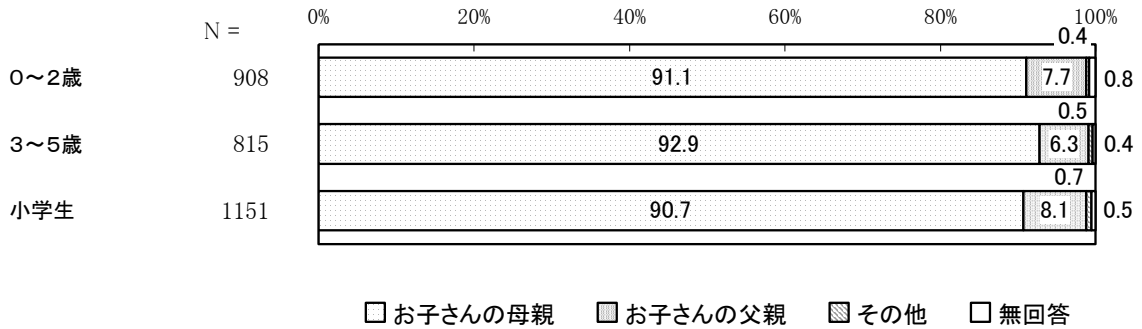
# 1. 子どもと家族の状況について

アンケートの回答者は、それぞれの年齢区分で母親が最も高く、9割以上を占めています。

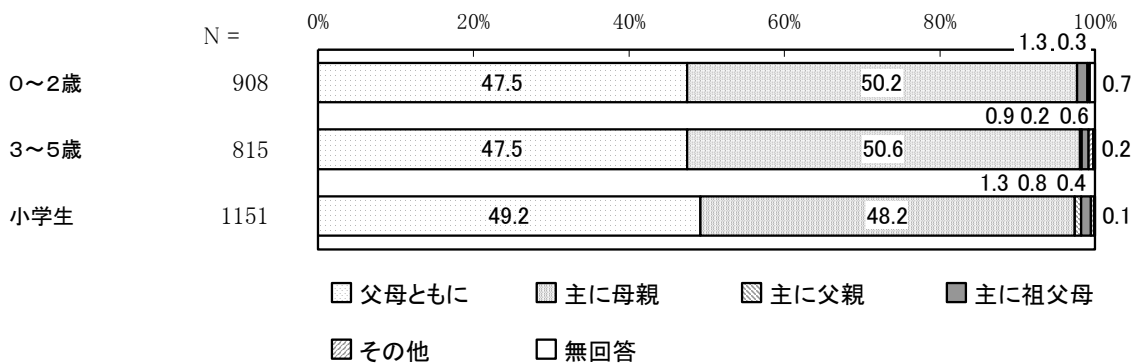
子どもの子育てを主に行っている人は、就学前児童については「主に母親」が最も高く、半数を超えています。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無のうち、「緊急時もしくは用事の際」については、約6割の方が「祖父母等の親族にみてもらえる」と回答しています。

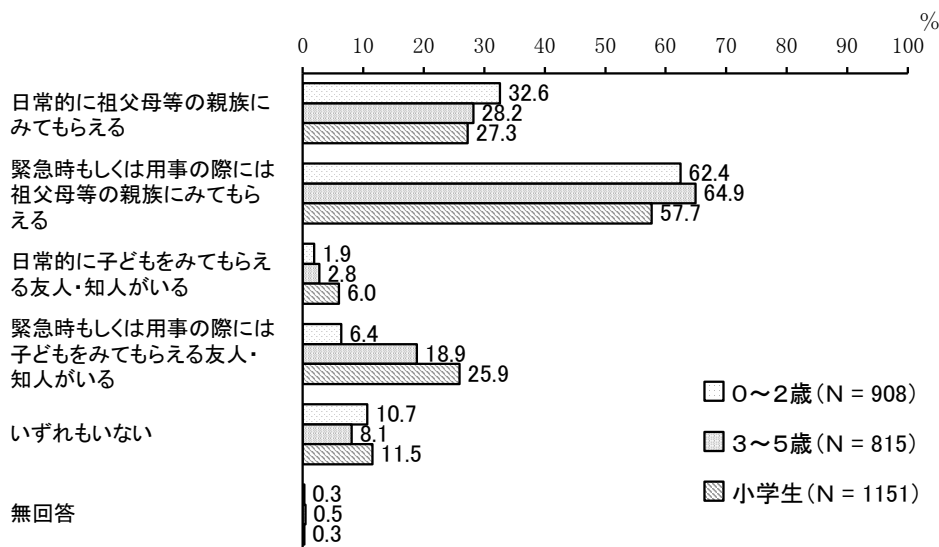
①アンケートの回答者【0～2歳：問4、3～5歳：問4、小学生：問4】(SA)



②子どもの子育てを主に行っている人【0～2歳：問6、3～5歳：問6、小学生：問6】(SA)



③日頃、子どもをみてもらえる人の有無【0～2歳：問7、3～5歳：問7、小学生：問7】(MA)





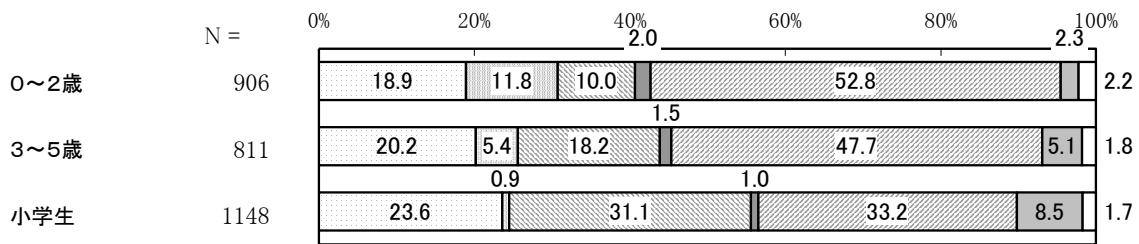
## 2. 保護者の就労状況について

母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0～2歳で5割を超えています。子どもの年齢区分が上がるにつれてその割合が減少する一方で、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

母親のフルタイムへの転換希望は、子どもの年齢区分に関わらず、6割近くの方が「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」と回答しています。

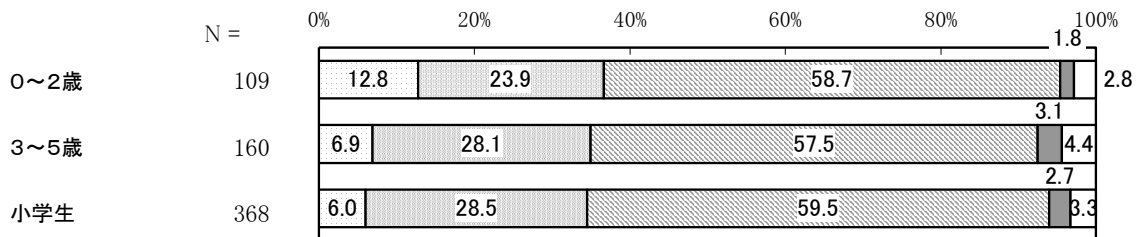
また、現在就労していない母親の就労希望は、子どもの年齢区分に関わらず「1年より先に就労したい」が最も高くなっています。

### ①母親の就労状況【0～2歳：問8、3～5歳：問8、小学生：問8】（SA）



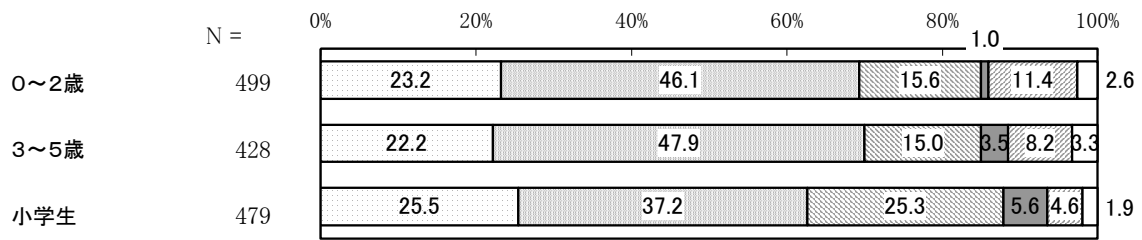
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

### ②パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望【0～2歳：問9、3～5歳：問9、小学生：問9】（SA）



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

③現在就労していない、または、これまで就労したことがない母親の就労希望  
 【0～2歳：問10、3～5歳：問10、小学生：問10】(SA)



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが( )歳になったころに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 就労したいが仕事がない
- 就労したいが子どもの預け先がないためできない
- 無回答

### 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

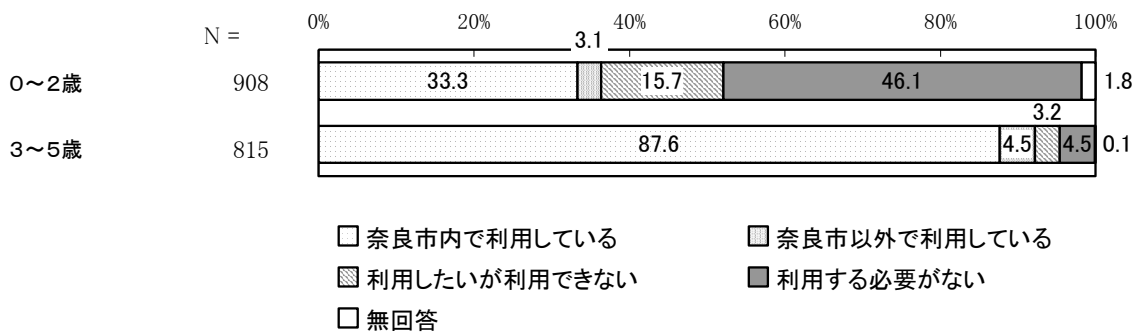
幼稚園や保育園等の定期的な教育・保育事業の利用について、0～2歳では5割以上が利用する必要があると回答し、3～5歳では9割以上の方が利用していると回答しています。

利用している事業は、0～2歳で「認可保育園」が最も高く、3～5歳では「幼稚園」が5割を超え、次いで「認可保育園」となっています。また、利用している施設への通園手段をみると、子どもの年齢区分に関わらず「自家用車」が最も高く、0～2歳では6割を超えています。

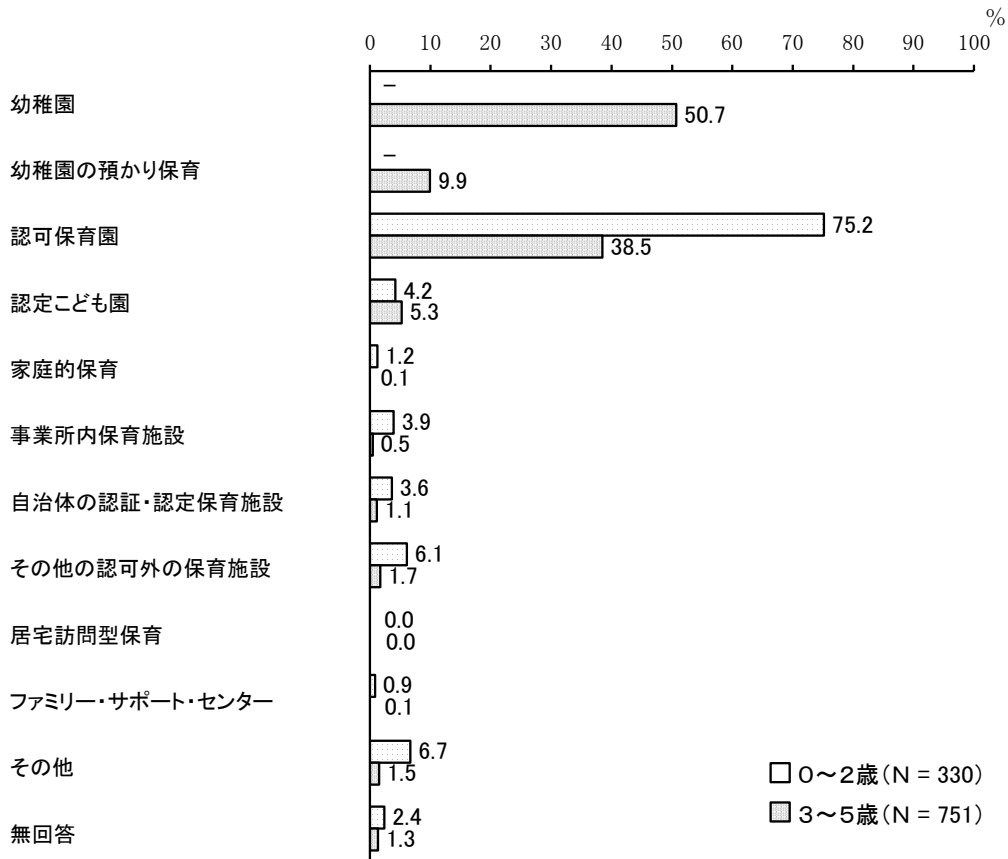
今後、定期的にご利用したい事業の希望については、0～2歳で「認可保育園」と「幼稚園」が5割を超えており、次いで「認定こども園」が高くなっています。3～5歳になると「幼稚園」が最も高くなり、「幼稚園の預かり保育」の希望も高くなっています。

さらに、施設・事業を選ぶ際に重視することは「通園距離や立地条件」が最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容」となっています。

①定期的な教育・保育事業の利用の有無【0～2歳：問14、3～5歳：問14】(SA)

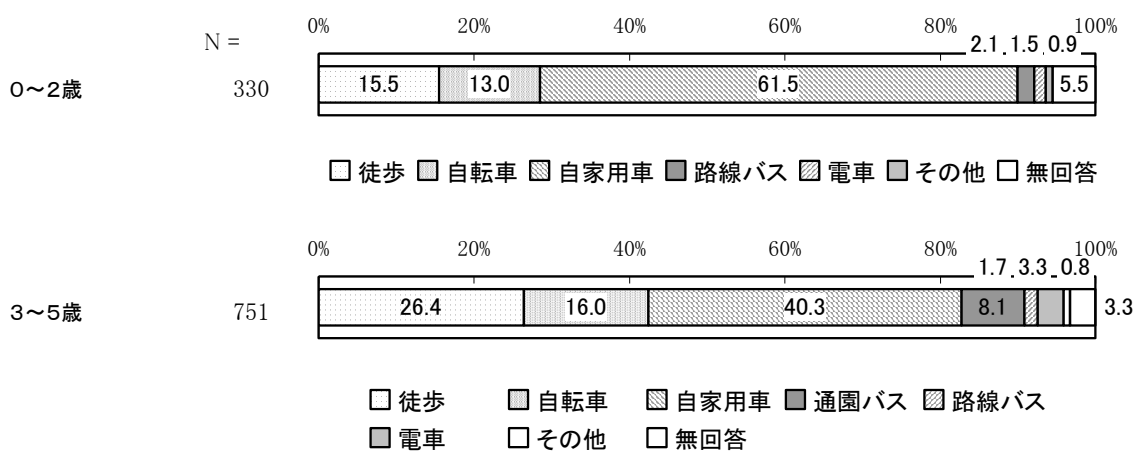


②定期的に利用している施設・事業【0～2歳：問14-1、3～5歳：問14-1】(MA)

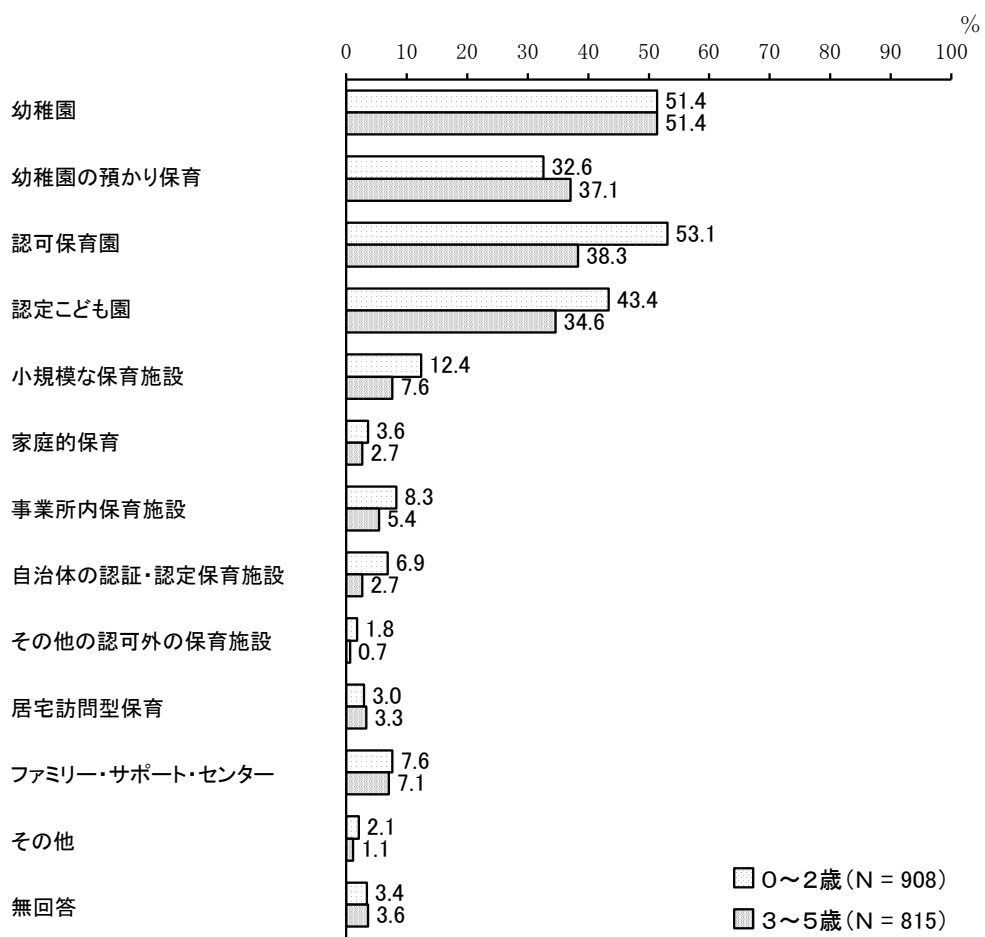


※0～2歳には「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の選択肢はありません。

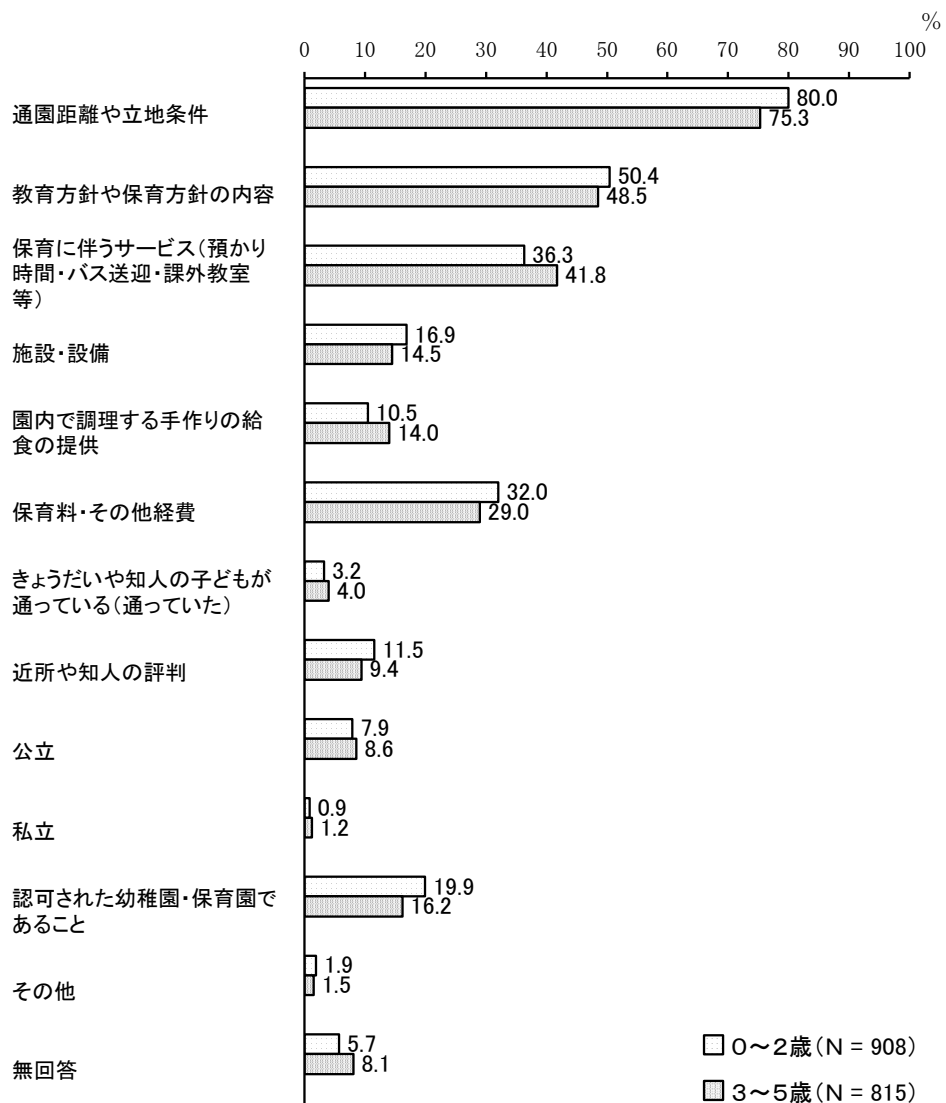
③利用している施設・事業への主な通園手段【0～2歳：問14-4、3～5歳：問14-4】(SA)



④定期的に利用したい教育・保育事業の希望【0～2歳：問15、3～5歳：問15】(MA)



⑤施設・事業を選ぶ際に重視すること【0～2歳：問15-2、3～5歳：問15-2】(MA)



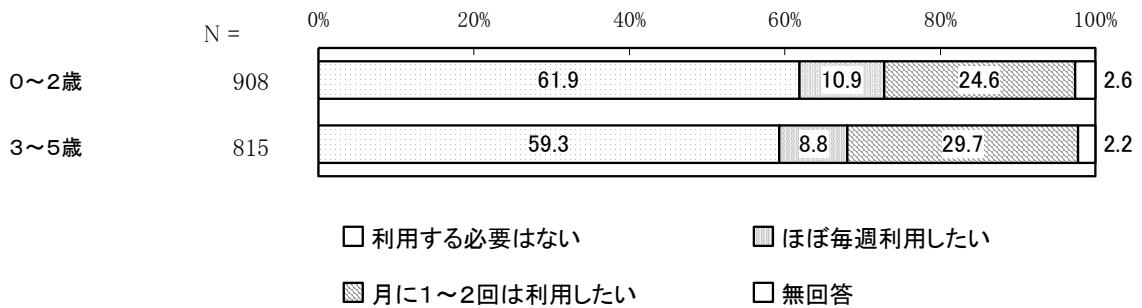
#### 4. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日については約6割、日・祝日については、約8割の方が「利用する必要はない」と回答しています。

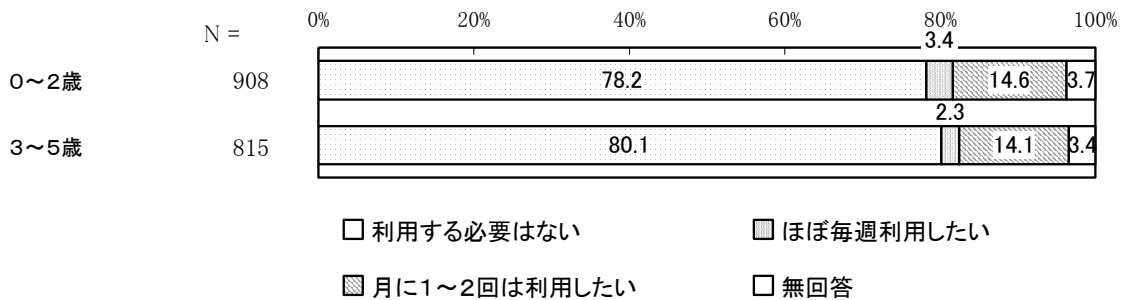
次に、「幼稚園の預かり保育」に限定すると、25%以上の方が平日に定期的に利用しており、その理由については、「自分の時間をつくりたいため」が最も高く、5割を占めています。

さらに、夏休みや冬休み等の長期休暇中の預かり保育の利用希望については、「ほぼ毎日利用したい」と「週に数日利用したい」を合計すると、6割以上の方が利用したいと回答しています。

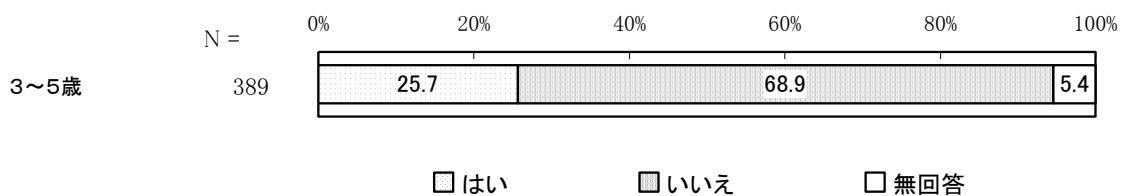
##### ①土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【0～2歳：問16(1)、3～5歳：問16(1)】(SA)



##### ②日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【0～2歳：問16(2)、3～5歳：問16(2)】(SA)

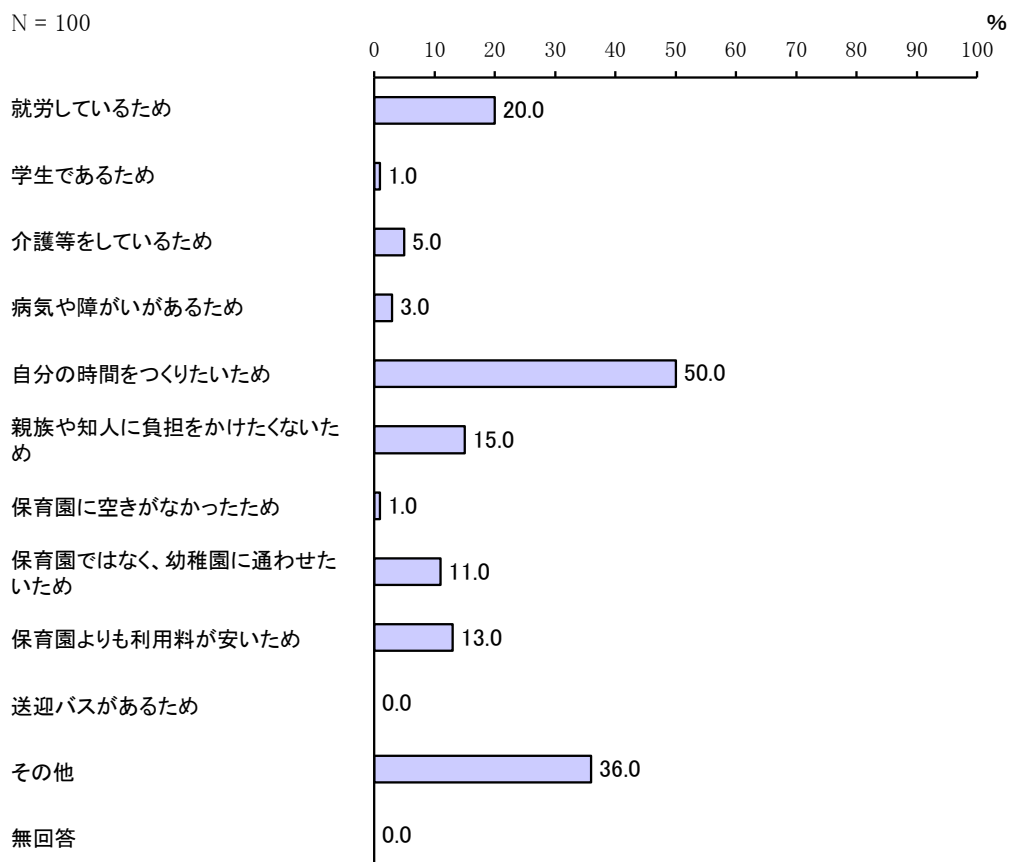


##### ③幼稚園利用者の「預かり保育」の定期的な利用の有無【3～5歳：問17】(SA)

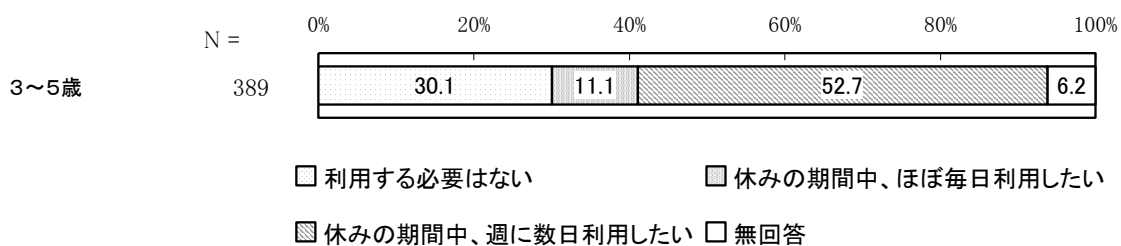


④幼稚園利用者の「預かり保育」の定期的な利用の理由【3～5歳：問17-1】(MA)

【3～5歳】



⑤幼稚園利用者の「長期休暇中の預かり保育」の利用希望【3～5歳：問17-2】(SA)



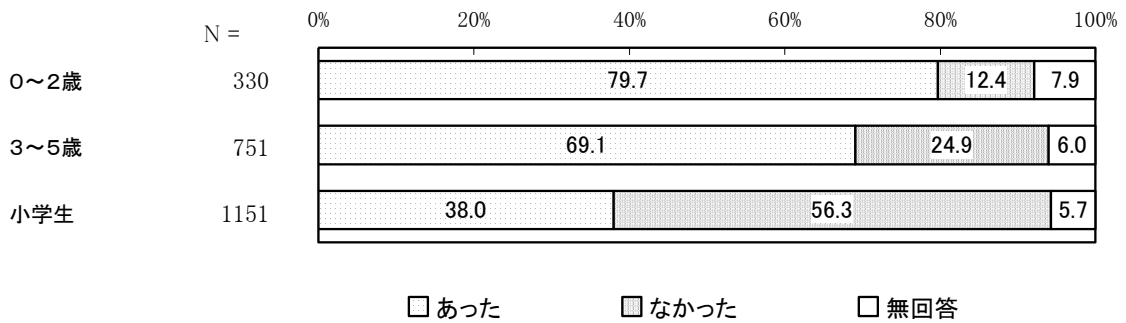
## 5. 子どもが病気やケガの際の対応について

この1年間に、子どもが病気やケガが原因で、定期的な教育・保育事業が通常どおりに利用できなかったことがあるかどうかについて、0～2歳では約8割の方が「あった」と回答しています。

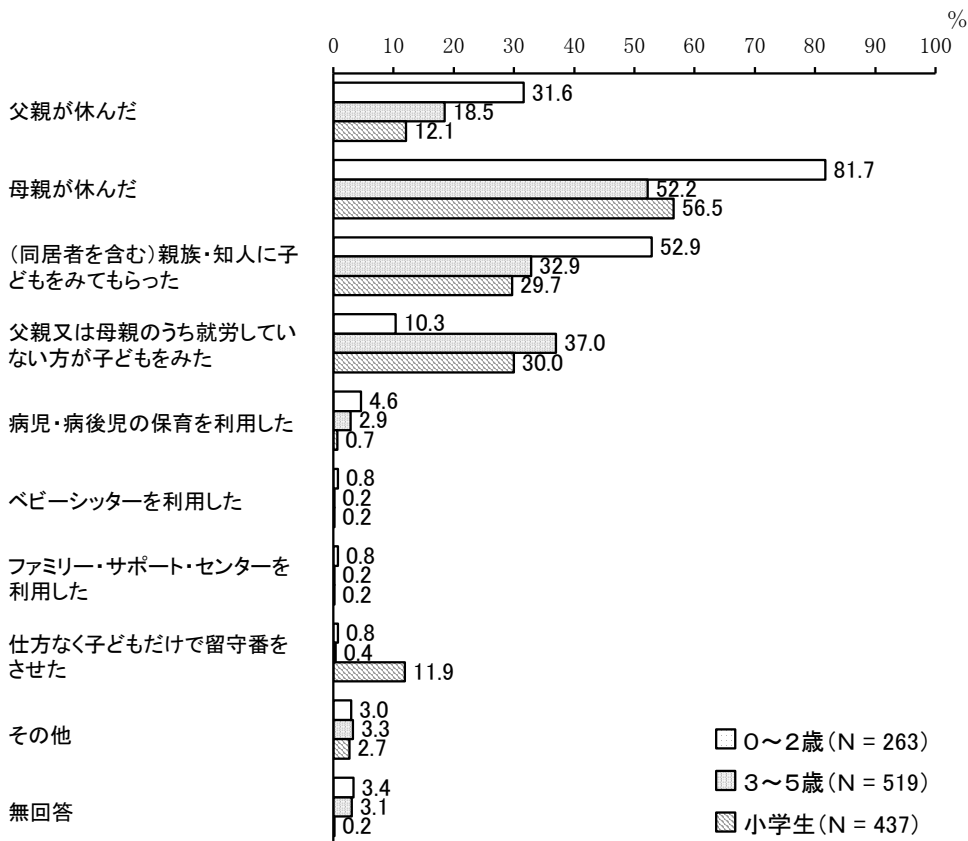
その場合の対処は、年齢区分に関わらず「母親が休んだ」が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」となっています。

母親または父親が休んで対応した家庭の病児・病後児保育の利用希望については、子どもの年齢区分が下がるにつれて、「できれば利用したかった」と回答した方の割合が高くなっており、0～2歳では約4割を占めています。

①この1年間の子どもの病気やケガより定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験の有無  
【0～2歳：問17、3～5歳：問18、小学生：問23】(SA)

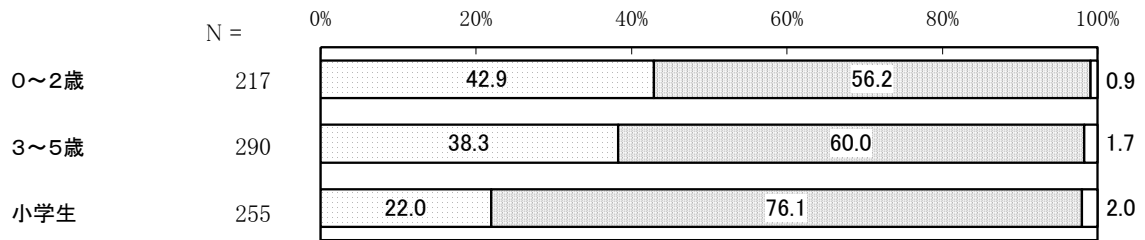


②病気やケガにより定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法  
【0～2歳：問17-1、3～5歳：問18-1、小学生：問23-1】(MA)





③母親または父親が休んで対応した家庭の病児・病後児保育の利用希望  
 【0～2歳：問17-2、3～5歳：問18-2、小学生：問23-2】(SA)



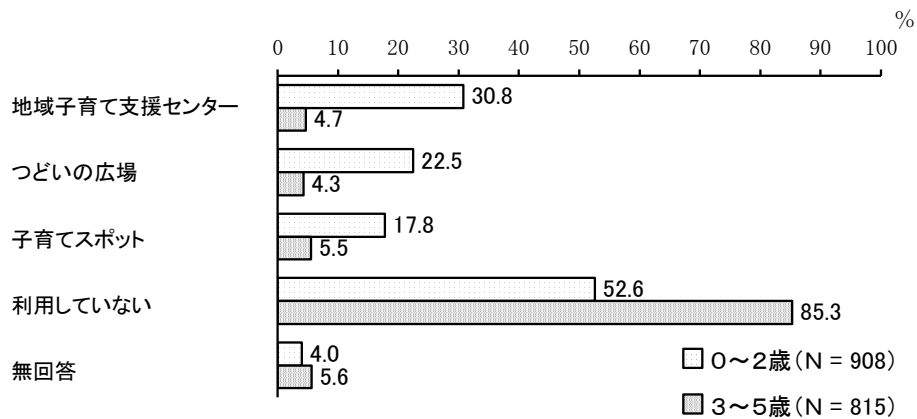
できれば利用したかった  利用したいとは思わなかった  無回答

## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

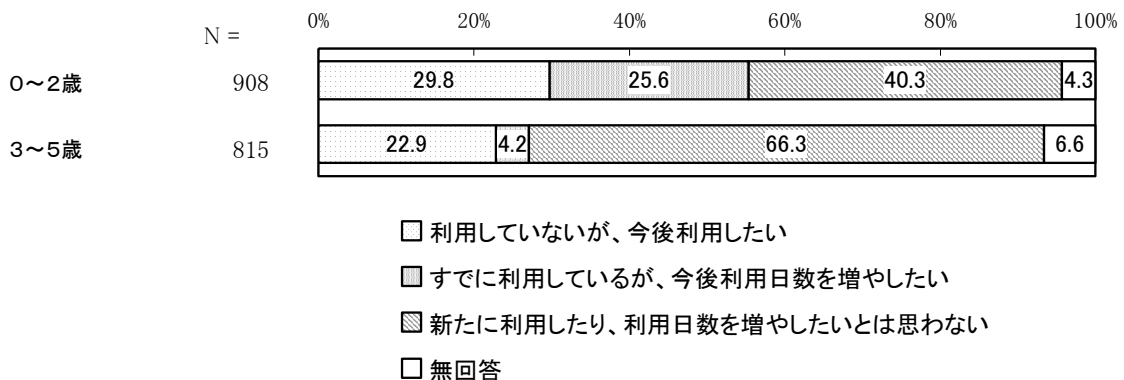
地域の子育て支援のための事業の利用状況について、0～2歳では「利用していない」が最も高く、5割を超えています。なお、3事業の中では、「地域子育て支援センター」の利用状況が最も高くなっています。

地域の子育て支援事業の今後の利用希望については、0～2歳のうち、「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合計すると、5割以上の方が利用希望があると回答しています。

### ①地域の子育て支援事業の利用状況【0～2歳：問19、3～5歳：問20】(MA)



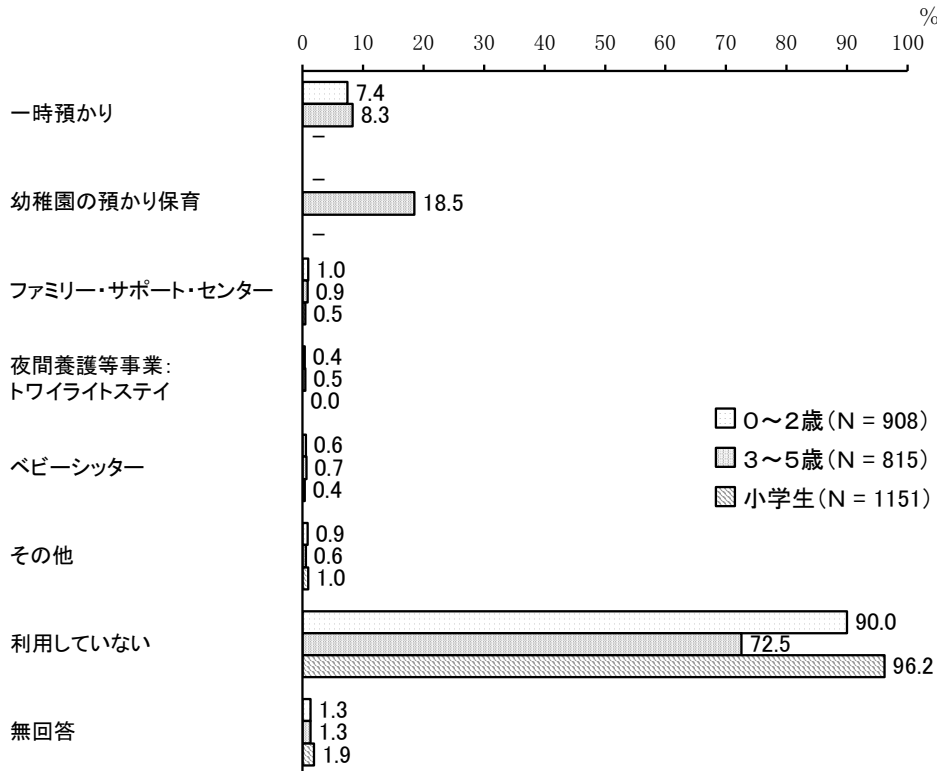
### ②地域の子育て支援事業の今後の利用希望【0～2歳：問20、3～5歳：問21】(SA)



## 7. 不定期の教育・保育事業及び一時預かり等の利用状況について

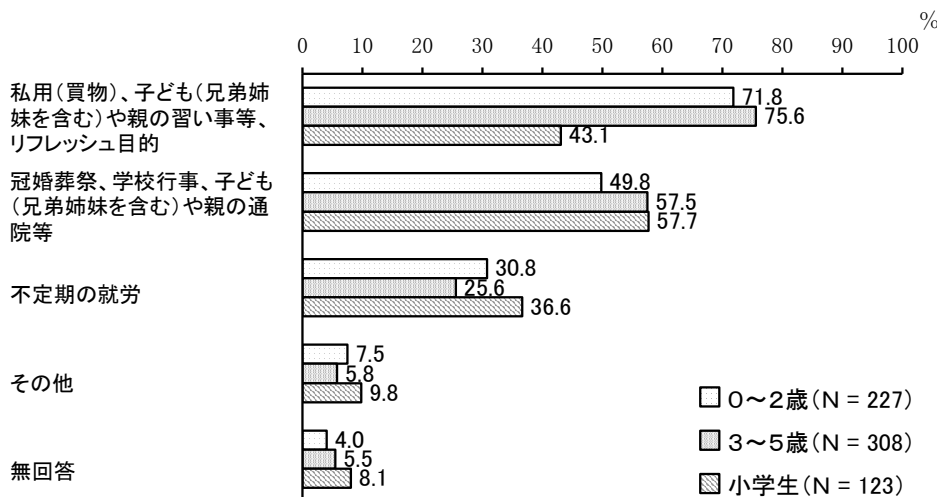
定期的な教育・保育事業等以外に、保護者の私用や通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業があるかどうかについて、子どもの年齢区分に関わらず「利用していない」が最も高くなっていますが、利用している事業の中では「一時預かり」と「幼稚園の預かり保育」が高くなっています。その利用目的は、「私用、子どもや親の習い事等、リフレッシュ目的」が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」となっています。

### ①不定期で利用している事業の有無【0～2歳：問22、3～5歳：問23、小学生：問25】(SA)



※0～2歳には「幼稚園の預かり保育」の選択肢はありません。また、小学生には「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」の選択肢はありません。

### ②一時預かり等の利用目的【0～2歳：問23、3～5歳：問24、小学生：問26】(MA)

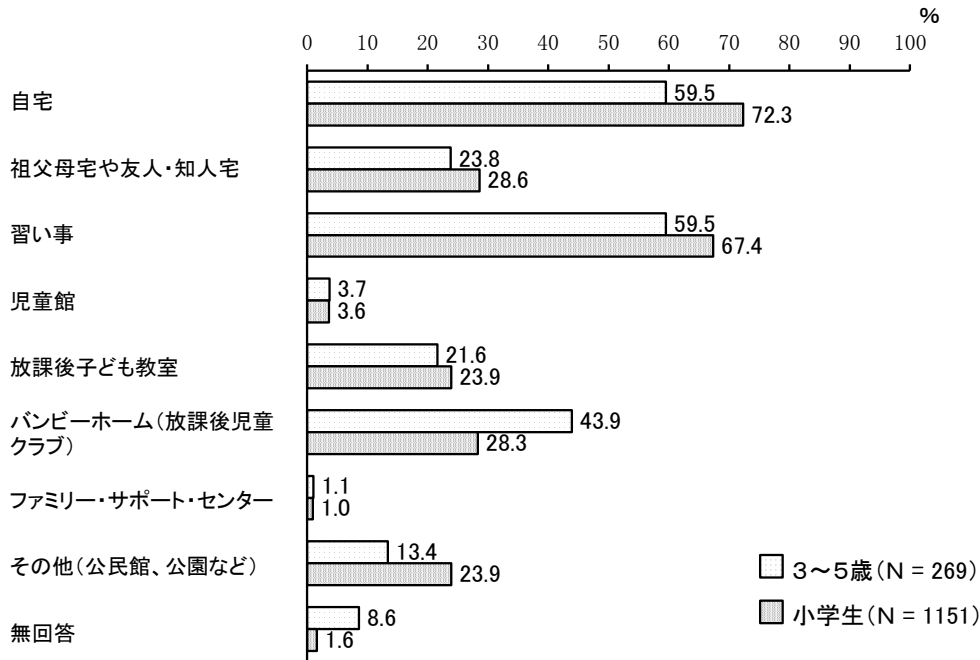


## 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について

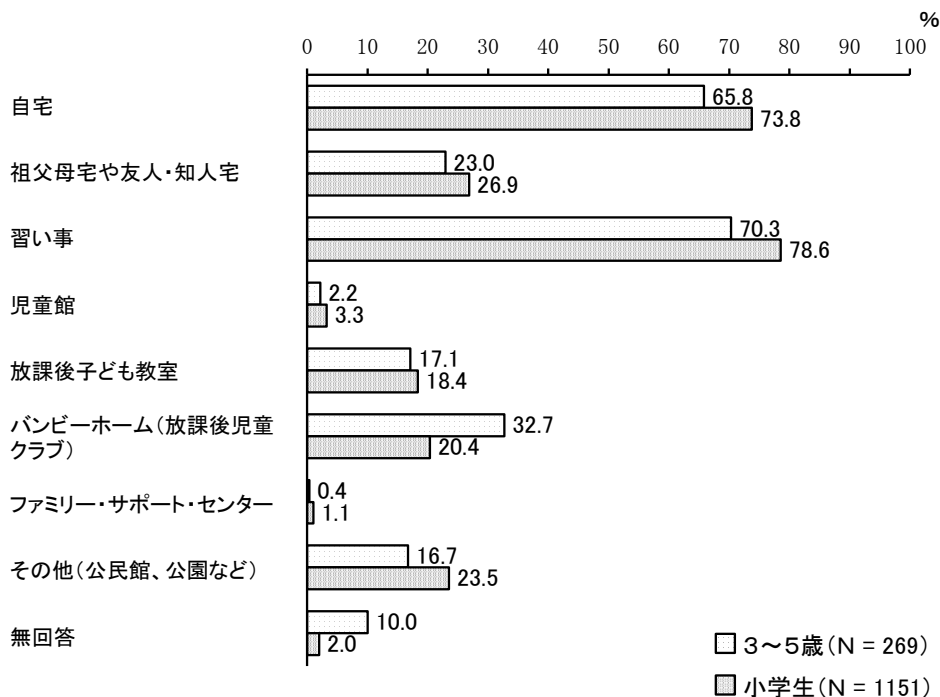
小学校就学後の放課後の過ごし方について、低学年（1～3年生）の間の過ごし方の希望については、「自宅」と「習い事」が高くなっており、次いで「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」となっています。

一方、高学年（4～6年生）の間の過ごし方の希望については、「自宅」と「習い事」が低学年の間と同様に高くなっていますが、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」を希望する割合は、子どもの年齢区分に関わらず減少しています。

### ①小学校低学年（1～3年生）の間の放課後の過ごし方【3～5歳：問26、小学生：問15】（MA）



### ②小学校高学年（4～6年生）の間の放課後の過ごし方【3～5歳：問27、小学生：問16】（MA）



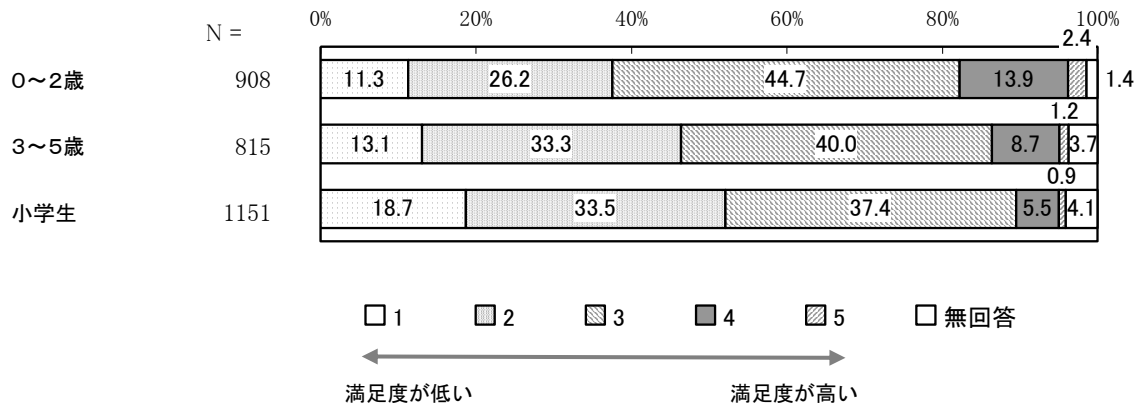
## 9. 子育ての不安と悩みについて

最後に、奈良市の子育ての環境や満足度について、子どもの年齢が上がるほど満足度が低いと回答する方の割合が高くなっています。

子育てに関して、日常悩んでいることや、気になることについては、0～2歳では「食事や栄養に関すること」や「病気や発育・発達に関すること」が高くなっています。また、3～5歳と小学生では、「子どもの教育に関すること」や「子どもを叱りすぎているような気がする」と高くなっています。

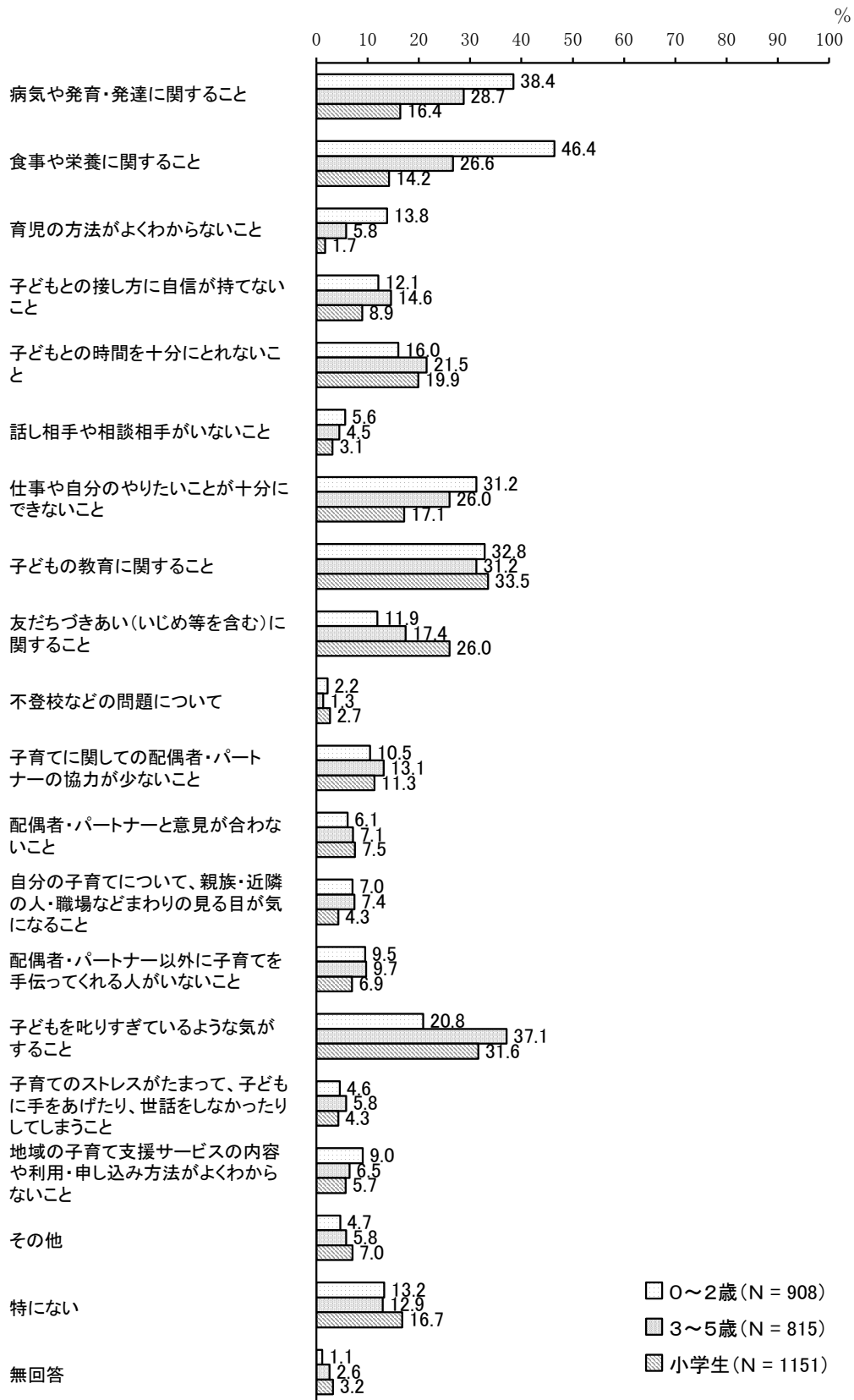
子育てに関する悩みや不安がある場合の相談相手については、「配偶者・パートナー」が最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」、「隣近所の人、地域の知人、友人」となっています。

①奈良市の子育て環境や支援の満足度【0～2歳：問26、3～5歳：問31、小学生：問29】（SA）



②子育てに関して、日常悩んでいること、気になること

【0～2歳：問28、3～5歳：問33、小学生：問31】(MA)



③子育てに関する悩みや不安がある場合の相談相手

【0～2歳：問29、3～5歳：問34、小学生：問32】(MA)

